

外科（一般・消化器外科）で大腸癌診療を行った患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター外科（一般・消化器外科）では、「大腸癌手術症例に関する国際的なデータベースの構築」に参加することになりました。

この研究の目的は、当院外科（一般・消化器外科）をはじめとする地域基幹病院において大腸癌の手術・診療を行った患者さんの臨床病理学的な特性、診断、診療の効果・安全性に関して検討し、新たな臨床試験の資料とすることです。

この研究のため、2000年1月1日から2030年12月末までに大腸癌に対して治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのは当院外科（一般・消化器外科）で大腸癌の治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（症状、疾患名、治療内容等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。本研究は慶應義塾大学病院を研究責任者として行われ、他の参加施設は Massachusetts General Hospital、King Hussein Cancer Center、川崎市立川崎病院、平塚市民病院、さいたま市立病院、足利赤十字病院、済生会宇都宮病院です。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2022年6月

研究責任者

東京医療センター 一般・消化器外科

島田 岳洋

連絡先 03-3411-0111(代表)